



# 中国・第13期全人代第4回会議 第14次五カ年計画における科学技術イノ ベーション政策動向概要

2021年3月25日  
海外動向ユニット

# はじめに：本資料について

- 2021年3月5日-11日にかけて、日本の国会にあたる全国人民代表大会（全人代）が開催された。
- 会期中に審議・承認された下記2つの文書から、**第14次五カ年計画（2021-2025）**における科学技術イノベーション政策動向をまとめる。

## 「政府作業報告書」

2020年のレビュー、第13次五カ年計画の成果と第14次五カ年計画の主な目的と課題、2021年の取り組み - 李克強國務院総理による報告

## 「国民経済・社会発展第14次五カ年計画 および2035年長期目標草案」

本草案は、全19編65章からなる科学技術イノベーション分野を含む社会全体の中長期計画案。科学技術イノベーションに関しては、下記の編で主に言及されている。

第2編：イノベーションによる発展の継続と新しい開発成果の包括的形成

第3編：現代の産業システム開発加速と実体経済の基盤強化

第5編：デジタル開発の加速とデジタル中国の構築

第16編：国防と軍隊の近代化を加速、豊かな国と強力な軍隊の統一を達成

# 第13期全人代第4回会議概要

## 全人代とは

- 全人代は、省と全国の人民代表大会と中国人民解放軍から選出された代表によって構成され、全人代常務委員会や国務院等が提出した議案や予算案が審議される。
- 第13期全人代第4回会議では、コロナ後の経済目標・経済対策、科学技術分野を含む社会全体の指針となる第14次五カ年計画および2035年長期目標、2021年の実施計画が重視された。

## 第14次五カ年計画 (2021-2025)

- 今回発表された第14次五カ年計画および2035年目標にそって、今後省庁・地方都市、研究機関等が各々プロジェクトを策定する。
- 恒例に従えば、科学技術イノベーションに特化した「中国科学技術（イノベーション）第14次五カ年計画（仮称）」が別途策定される。
- 以降のスライドは、第14次五カ年計画の下記のトピックに注目する。
  - 科学技術イノベーションの4つの柱 ■ 産業と経済の基盤強化
  - 「デジタル中国」の構築 ■ 国防・軍隊の近代化・強化

# 第14次五カ年計画・科学技術イノベーション関連動向

- 科学技術イノベーションによる発展の堅持、現代的産業体系の発展を加速（第2編）

科学技術イノベーション推進に関する4つの柱

1. 国家科学技術戦略の強化
  2. 企業の技術イノベーション能力の強化
  3. イノベーション・高度人材の育成
  4. 科学技術イノベーションシステムとメカニズムの改善
- 産業と経済の基盤強化（第3編）
  - 「デジタル中国」建国（第5編）
  - 国防・軍隊の近代化・強化（第16編）

## 第14次五カ年計画における2025年までのイノベーション分野の数値目標

デジタル経済の核心産業のGDP増に占める割合を**10%以上**に

**社会全体の研究開発経費を年7%以上増加**、対GDP比で第13次五カ年計画時の実績を超える

人口1万人当たりの「高価値特許」を**12件以上**とする

# 科学技術イノベーション推進の4つの柱（1）

## 1. 国家科学技術戦略の強化

### ● 研究開発の場の整備

- 量子情報、光工学、マイクロナノエレクトロニクス、ネットワーク通信、AI、バイオ医学、現代エネルギーシステム等のイノベーション分野に焦点をあてた国家実験室の設立、国家重点実験室再編による戦略的科学技術力構築を加速

### ● 最先端の科学技術研究を強化

- 戦略的重要分野の指定：AI、量子情報、集積回路、臨床医学・ヘルスケア、脳科学・脳型知能、遺伝子・バイオテクノロジー、宇宙・地球深部・深海探査・極地観測
- 「科学技術イノベーション2030 - 主要プロジェクト」を今後策定・実施

### ● 基礎研究の強化を促進

- 「基礎研究10年行動計画」を今後策定・実施、基礎研究センターの重点整備
- 中央政府の基礎研究投資(2021年)を10.6%増、第14次期間中基礎研究経費率を8%以上に増

### ● 科学技術イノベーション基盤の改善

- 北京、上海、粵港澳大湾区に国際科学技術イノベーションセンター整備
- 北京怀柔、上海張江、粵港澳大湾区、安徽省合肥市に国立科学センター建設
- 自然科学技術リソースバンク、国家フィールド科学観測研究ステーション、科学ビッグデータセンター建設

# 科学技術イノベーション推進の4つの柱（2）

## 2. 企業の技術イノベーション能力の強化

- 税制上の優遇措置等により研究開発投資の増額を奨励
- 産業界において共通となる基礎技術の研究開発を支援

## 3. イノベーション・高度人材の育成

- 高度人材の育成
  - ・ 国際競争力のある若手科学技術人材の育成
  - ・ 数学、物理学、化学、フロンティアサイエンス等の基礎分野での人材育成
  - ・ よりオープンな人材政策と海外人材招聘において魅力的な居住・研究・労働環境の提供
- 人材制度改革
  - ・ イノベーション能力、品質、有効性、貢献を重視した科学技術人材評価システムへ
  - ・ インセンティブメカニズムの改善
- イノベーションと創業を支援

## 4. 科学技術イノベーションシステムとメカニズムの改善

- 科学技術管理システムの改革
- 知的財産権保護、知的財産権に関する法規則の改善

# 産業と経済の基盤強化

- 産業基盤の高度化、産業サプライチェーンの現代化の促進
- 戦略的新興産業の発展・成長をめざす
- 従来型インフラと新型インフラの統一的な構築を推進

## 1. 製造強国戦略の実施

- 基礎産業能力の構築強化
- 産業サプライチェーンの近代化
- 製造業の最適化とアップグレード
  - インテリジェント製造およびグリーン製造の実装、グリーン製造の推進
  - 集積回路、航空宇宙、船舶・海洋エンジニアリング装備、ロボット、高度な鉄道輸送機器、高度な電力機器、エンジニアリング機械、ハイエンドCNC工作機械、医薬・医療機器等の産業の革新的開発

## 2. 戦略的新興産業の発展と成長

- 次世代情報技術、バイオテクノロジー、新エネルギー、新素材、ハイエンド機器、新エネルギー車、グリーン環境保護、航空宇宙、海洋機器等の核心技術の革新と応用を加速
- 未来の分野：脳型知能、量子情報、遺伝子技術、将来ネットワーク、深海・航空・宇宙開発、水素エネルギーとエネルギー貯蔵等の分野での産業インキュベーションの加速を計画

# 「デジタル中国」 建国

## ● デジタル経済、デジタル社会、デジタル政府構築の加速を目指す

### 1. デジタル技術の革新的アプリケーションの強化

- ハイエンドチップ、オペレーティングシステム、AIアルゴリズム、センサー等の主要分野を対象に、研究開発推進、基礎理論等の進展を加速
- 汎用プロセッサ、クラウドコンピューティングシステム、ソフトウェアコアテクノロジーを統合した研究開発
- 量子コンピューター、量子通信、ニューロンチップ、DNAストレージ等の最先端技術開発の加速、情報科学、ライフサイエンス、材料等の融合イノベーション強化
- デジタル技術のオープンコミュニティ、オープンソースの知的財産・法整備の改善

### 2. デジタル工業化の促進

- AI、ビッグデータ、ブロックチェーン、クラウドコンピュータ、ネットワークセキュリティ等、新興デジタル産業の育成と拡張
- 通信機器、コア電子コンポーネントおよび重要ソフトウェアの産業レベルの向上
- 5Gアプリケーションシナリオと産業エコロジーの構築

### 3. 産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)の促進

- データ駆使に基づく全産業界のサプライチェーンのDXを推進
- 重要産業・地域に国際レベルの産業インターネットプラットフォームとDX推進センターを多数建設し、産業界の研究開発、生産製造、経営マネジメント、マーケティングサービス等のデジタル化を推進

# 国防・軍隊の近代化・強化

- 2027年（人民解放軍の軍創設100周年）までに軍隊の強化
- 国の繁栄と強力な軍隊の統一の実現
- 国防力と経済力の向上促進
- 国防と軍隊の近代化
  - 第13次五カ年計画（2016-2020）にあった国際的軍事交流は言及されず、インテリジェント兵器開発等の兵器や装備の近代化の加速と、国防科学技術での独自の革新に言及
- 軍民の共同開発継続
  - 第13次五カ年計画の軍民共同開発の推進は継続
  - 海洋、航空宇宙、サイバースペースという領域に加え、軍民の科学技術協力において生物学、新エネルギー、AI、量子技術等の科学技術分野にまで言及
  - 科学研究施設の共有、科学研究成果と主要産業の発展の双方向の変革と応用
  - インフラの共同建設・共有強化

# 第14次五カ年計画 – まとめ

## ● 第14次五カ年計画もイノベーション駆動型発展戦略を維持

- イノベーションによる発展を重視する路線を継続し、「科学技術イノベーション2030－重大プロジェクト」を策定・実施

## ● 第13次五カ年計画(2016-2020)と第14次五カ年計画(2021-2025)の違い

- 第14次五カ年計画は、基礎研究をより一層重視し、研究費の増額や「基礎研究10年行動計画」を策定・実施
- 第13次五カ年計画のイノベーション人材育成の重視も継続しつつ、人材評価システムの改革を実施し、イノベーション能力や貢献度を重視
- 第14次5カ年計画では、国防・軍の近代化において、軍事科学技術の独自の開発、軍民の科学技術協力において、生物学、新エネルギー、AI、量子技術といった科学技術分野にも言及